

神奈川県自閉症協会会員及び関係各位

NHK の ETV 特集「鍵をあける 虐待からの再出発」

(初回放送日:2023 年 8 月 12 日)

神奈川県自閉症協会は放送内容に違和感を持って
いる事を表明します！ 皆さん、各々で確認下さい。



2023 年 9 月 15 日

神奈川県自閉症協会 会長 藤森 その美

<番組の説明内容>

「知的障害者施設の前職員が入所者19人を殺害した相模原障害者殺傷事件から7年。その後、神奈川県がすべての県立の入所施設を調査したところ、虐待や不適切な行為が次々と発覚した。県立中井やまゆり園では、自傷や他害など強度行動障害が見られる入所者の長時間にわたる居室施設も数多く報告された。鍵を開き、一人ひとりの入所者たちと向き合う。模索しながら新たな暮らしをつくらうとする2年間を記録した」とNHKは説明していますが……。

<番組をみた当会会員の声(抜粋)と対応>

- ▶ 一言で「とても後味の悪い番組」でした。強度行動障害者に対する支援として見本の様な報道の仕方に嫌気がさしました。
- ▶ 抱え込み、仰向けにし、上から押し付けがましく言葉をかける…これが良い支援として放映された事に腹立たしい思いです。
- ▶ 言葉にたよる支援によって逆に混乱を招いている場面が幾度となくあった。
- ▶ 人間愛を前面に出しているような感じですが、本人の「会いたくない」との意思は無下にしている。

まず会員間では親の視点での違和感が上げられると共に、自閉症を知らない方には良い方向に進むのだと理解されるのだろうかとの疑問を持ちました。親の会としては支援技法の直接の評価は保留しますが、社会や専門家の方たちの評価を確認する必要があると考えました。

<当会主催 25 年の「自閉症療育者のためのトレーニングセミナー」の取り組みからの違和感>

当協会では、1995 年から県との共催で「強度行動障害対策を県立施設で行うに当たっての研究会」を実施しました。建物と同時に支援ノウハウが大切と、TEACCH プログラムによるトレーニングセミナー実行委員会を発足し 1998 年に第 1 回のセミナーを開催しました。自閉症児者 5 名にモデルとしてご参加いただき 25 人の受講生に講義と実習による実践実技研修の連続 5 日間のセミナーです。現在 2023 年まで第 24 回を開催し、延べ 588 名の受講修了者を輩出し、約半数は神奈川県職員の方々です。

この取り組みから当会会員も一緒に学習を重ねており、その中から放送の内容と共に、支援のあり方に違和感を持つものです。

<専門家の方々の評価 > 神奈川県の方々にも情報としてインプットします。

当会会員が文書で入手できたお二人の専門家が発信された資料を添付します。内容の解説や紹介はしませんので、皆さんで確認下さい。当会の仲間がそれぞれ感じた違和感やその理由が腑に落ちたものです。当会資料として使わせていただく事は了承頂きました。

- 1) 松上利男氏 社会福祉法人北摂杉の子会理事長 一般社団法人全日本自閉症支援者協会会長
NHK-ETV 特集制作担当者宛 「鍵をあける 虐待からの再出発」についての感想と意見
SNS に上げられていたものを当会会員が入手したものです。
- 2) 宗澤忠雄氏 日本障害者虐待防止研究研修センター代表
NHK-ETV 特集「鍵をあける 虐待からの再出発」の批判的検討 2023 年 8 月 21 日
(中央法規出版株式会社の「介護福祉の応援サイト けあサポ」にブログとして発表)

<改めて当会としての見解を明確にします>

毎年当会は神奈川県に「自閉スペクトラム症児・者に対する行政施策の推進についての要望書」を提出しています。今年度は今回の中井やまゆり園の改革のアクションプランに対する要望書を併せて提出準備をしていましたが、上記の NHK-ETV 特集の放送があり、提出を保留しました。

上記の通り、改めて NHK の報道内容に違和感を表明すると共に、中井やまゆり園の改革アクションプランについても、違和感の表明と懸念点等改善の要望書を提出させていただきます。

以上